

## 日本行動計量学会第19回大会日程表

	701室	711室	714室
第 13:00 一 日 16:00	特別セッション1 都市景観	セッション A 尺度構成・統計モデル	セッション B 臨床・社会医学
第 11:00	9:00 9:20	セッション D 多変量解析の応用	セッション E 識別・決定
	セッション C 教 育		
	総 会 (701室)		
12:00	昼 食		
13:00	特別講演 1 (701室) 地球大気の構造と地球環境		
二 14:00 14:10	シンポジウム 1 心理社会的ストレス と健康	セッション F 多変量解析の理論	セッション G ファジィ理論の 基礎と応用
日 17:00	懇 親 会 (北部厚生会館)		
第 12:00	9:30 10:00	特別セッション2 画像認識の現段階	特別セッション3 魅力ある車造りへの 多変量解析手法の活用
	昼 食		
	13:00	特別講演 2 (大型計算機センター演習室) 大容量記憶媒体を用いたパソコン用統計データベース	
14:10 14:20 三 14:30	セッション H 調 査	(大型計算機センター演習室) シンポジウム 2 非対称関係データの多次元解析	
日 16:50 17:30			

## 特別セッション 1

## 「都市景観」

町並みとか都市デザインとかよく耳にしますが、一体何なのでしょう。か、  
どうやって計るのでしょうか。景観は景を観ると書きます。意識して見て  
いる、見ていないにかかわらず、誰もが目にする都市の光景について、共  
に考えてみたいと思います。

座 長 中京大学文学部 神作 博  
中京大学文学部 成定 康平

## T1-1 都市景観に対する心理評価の構造

東京大学工学部 ○平手 小太郎  
東京大学工学部 大井 尚行

## T1-2 縮尺模型による建築外部空間シミュレーション

名古屋工業大学工学部 ○松本 直司  
名古屋工業大学工学部 山本 誠治

## T1-3 眺望シミュレーション・ルームの開発および評価

鹿島建設株式会社 辻田 行男  
鹿島建設株式会社 森 尚治  
鹿島建設株式会社 ○伊藤 正  
鹿島建設株式会社 掛井 秀一  
名古屋大学工学部 久野 寛  
名古屋大学工学部 森 詳子  
名古屋大学工学部 山口 典也

## T1-4 都市景観とライトアップ

松下電工株式会社 ○飯塚 哲英  
松下電工株式会社 平田 貢

## T1-5 校歌の中の都市景観

千葉大学工学部 北原 理雄

(企画者 久野 寛)

セッション A 尺度構成・統計モデル

- |     |   |                         |                |
|-----|---|-------------------------|----------------|
|     | 座 長   | 多摩大学経営情報学部<br>統計数理研究所   | 今泉 忠<br>中村 隆   |
| A-1 | 上限下限のあるサーストン流尺度化法                           | 早稲田大学教育学部               | 椎名 乾平          |
| A-2 | 一対比較法における固有ベクトル法と対数最小二乗法の比較                 | 名古屋工業大学<br>(前)名古屋市工業研究所 | ○仁科 健<br>柴山 忠雄 |
| A-3 | (非)類似度行列の尺度構成法の提案<br>- 評定データの場合 -           | 多摩大学経営情報学部              | 今泉 忠           |
| A-4 | 数量化IV類の基準による展開法                             | 金沢大学文学部                 | 岡本 安晴          |
| A-5 | ある線型対角パラメータ対称モデルとその英国の職業移動性データへの応用          | 東京理科大学理工学部              | 富澤 貞男          |
| A-6 | 特異値分解による連関モデルの解法                            | 神戸女子大学文学部               | 辻谷 將明          |
| A-7 | Catch-at-Ageデータの分析(4)<br>～ベイズ型コウホートモデル(XI)～ | 統計数理研究所                 | 中村 隆           |

第 1 日 午 後

8月28日(水)  
714室 13:00-16:00

セッション B 臨床・社会医学

- 座 長 聖学院大学政治経済学部 丸山 久美子  
統計数理研究所 高木 廣文
- B-1 幸福感・環境・価値観の関連分析  
——学生に対する事例調査1——  
創価大学工学部 坂部 創一
- B-2 現代青年の社会不安意識構造  
聖学院大学政治経済学部 丸山 久美子
- B-3 気分障害の病前性格についての計量精神病理学的研究  
大阪市立桃山市民病院 ○吉野 祥一  
大阪市立大学文学部 辻本 英夫  
産業医科大学 鈴木 尊志  
大阪市立桃山市民病院 赤埴 豊  
大阪市立桃山市民病院 福島 淳  
大阪市立桃山市民病院 本田 直弘  
大阪市立桃山市民病院 奥田 治
- B-4 2群間(等分散)の平均差の臨床的有意差検定について  
筑波大学臨床医学系 久保 武士
- B-5 婦人の生活習慣と生理学的検査値の関係  
統計数理研究所 ○高木 廣文  
文教大学教育学部 金子 俊  
文教大学教育学部 佐伯 圭一郎  
大学入試センター 柳井 晴夫  
聖路加看護大学 日野原 重明  
帝京大学医学部 道場 信孝
- B-6 経済構造との対比における死亡構造の国際比較  
学習情報通信システム研究所 ○奥 喜正  
学習院大学経営学研究科 内山 隆
- B-7 用量に対する多値反応の尺度化  
東京理科大学理学部 野田 一雄  
統計数理研究所 村上 征勝  
統計数理研究所 寺尾 節子  
東京情報サポートセンタ ○三野 大来

セッション C 教 育

座 長 大学入試センター 岩坪 秀一  
拓殖大学工学部 竹谷 誠

C-1 高等学校における進学指導の実態に関する調査

—特に斜交プロマックス法に基づく2次因子分析の結果を中心にして—

大学入試センター ○柳井 晴夫  
大学入試センター 前川 眞一  
大学入試センター 豊田 秀樹  
大学入試センター 鈴木 規夫  
早稲田大学 前田 忠彦

C-2 試験問題の定性的評価に基づく科目難易度の推定

—社会・理科についての第1次報告—

大学入試センター ○山田 文康  
大学入試センター 岩坪 秀一

C-3 戦略的課題系列化法の特性分析

拓殖大学工学部 竹谷 誠

C-4 ゲーム論的CAIとその成立要件について

職業訓練大学校 北垣 郁雄

セッション D 多変量解析の応用

座 長 宮崎産業経営大学経営学部 土井 聖陽  
名古屋大学工学部 久野 覚

D-1 社会的苦境における謝罪の評価と加害者・被害者の感情  
宮崎産業経営大学経営学部 ○土井 聖陽  
関西大学社会学部 高木 修

D-2 顔形グラフで表されたデータのクラスタリングに顔を描く変数が与える効果 II  
大阪市立大学文学部 ○辻本 英夫  
大阪市立桃山市民病院 吉野 祥一

D-3 コヒーレンスを変量とするクラスター分析  
徳島文理大学 松本 博次

D-4 電話の通話回数からみた都道府県間の関係について  
金沢工業大学 今澤 明男

D-5 屋外温熱環境と人間行動  
名古屋大学工学部 久野 覚

セッション E 識 別 と 決 定

座 長 統計数理研究所 村上 征勝  
駿河台学園 岸 清武

E-1 日蓮遺文の計量的特徴

統計数理研究所 村上 征勝  
立正大学 伊藤 瑞叡  
群馬大学 古瀬 順一  
立正大学 春日 正三  
明星大学 藤本 熙  
東京大学 ○岸野 洋久

E-2 日蓮の「三大秘法稟承事」の真偽判定

統計数理研究所 ○村上 征勝  
立正大学 伊藤 瑞叡  
群馬大学 古瀬 順一  
立正大学 春日 正三  
明星大学 藤本 熙  
東京大学 岸野 洋久

E-3 筆跡鑑定における閾値の決定法

名古屋大学工学部 ○吉村 功  
中部大学工学部 吉村 ミツ

E-4 線型2群判別分析の群所属確率・区間推定法

駿河台学園 岸 清武

特別講演 1

「地球大気の構造と地球環境」

名古屋大学太陽地球環境研究所 岩坂 泰信

司 会 名古屋大学工学部 吉村 功

岩坂教授は、南極観測でオゾンホールなどを観測してきた方である。その教授にして、最初はフロンを使うという程度の人間の営みが南極の空に穴をあけることを、信じられなかったようである。この発見は逆に、人がどのように自然の恩恵を受けて生きているかを見直すきっかけを与えている。行動計量学においても、自然環境に影響する社会的行動やリスク評価などに、地球規模のマクロな視点を入れなければならない。岩坂教授には、水や大気という無機的な自然を題材に、人間行動と地球規模の環境の相互関係を話していただく予定である。



## シンポジウム 1

## 「心理社会的ストレスと健康」

心理社会的ストレスは近年、急速にわが国社会で問題にされるようになった。その背景には、最近の社会変容にともなう心理社会的ストレスが、我々の身体的、精神的、社会的適応を阻害して、様々な健康障害を引き起こしている現実があると思われる。したがって、その現実を認識し、心理社会的ストレスに対する対応方法を検討することは、健康増進ならびに予防医学の立場からは重要な課題であるといえる。一方、心理社会的ストレスと健康の問題に関する研究は急速に今後も増え続けるであろう。そこで、本シンポジウムでは、①心理社会的ストレスが我々の体内でどのような反応を引き起こすのか、②心理社会的ストレスをどのようにして計測するのか、③心理社会的ストレスがどのような精神障害を生み出すのか、④最近わが国でも検討されるようになったタイプA行動と心臓病の関係に、心理社会的ストレスがどのようなかかわり合いをもつのか、そして⑤心理社会的ストレスにどのように対応したらよいか、これらの問題提起に応える形で、これまでに精力的に取り組んでこられた演者の先生方より考察をうかがい、会員諸氏に、この方面の問題ならびに研究の現状と重要性を認識していただく。

企画者	愛知県がんセンター研究部	小川 浩
司会	京都大学教養部	木下 富雄

- |      |                           |        |
|------|---------------------------|--------|
| S1-1 | ストレスの生理-生体への影響-           |        |
|      | 久留米大学医学部                  | 田中 正敏  |
| S1-2 | ストレスの計量化                  |        |
|      | 南山大学経営学部                  | 渡辺 直登  |
| S1-3 | ストレスとうつ病                  |        |
|      | 浜松医科大学                    | 大原 健士郎 |
| S1-4 | 虚血性心臓病におけるストレスとタイプA行動パターン |        |
|      | 名古屋第二赤十字病院                | 前田 聡   |
| S1-5 | 職場におけるストレスとその管理           |        |
|      | 名古屋大学国際開発研究科              | 若林 満   |

セッション F 多変量解析の理論

座長 東京工業大学工学部 繁樹 算男  
岡山大学教養部 田中 豊

F-1 多変量二値データのスペクトル解析  
防衛大学校 岩崎 学

F-2 多集合-多群データの階層的主成分分析  
名古屋大学教育学部 村上 隆

F-3 Principal component analysis with different sets  
of constraints on different dimensions (DCDD).  
McGill University ○高根 芳雄  
University of Groningen Henk A.L. Kiers  
UCLA Jan de Leeuw

F-4 予測分布による因子数の決定  
東京工業大学工学部 ○繁樹 算男  
University of California at Riverside  
S. James Press

F-5 直積を用いた共分散構造分析  
J R 東日本安全研究所 ○小笠原 春彦  
J R 東日本安全研究所 藤原 智明

F-6 共分散構造分析の感度分析について  
山陽学園短大 ○渡谷 真吾  
岡山大学大学院 文 勝浩  
岡山大学教養部 田中 豊

F-7 対数ガンマモデルの診断と調整  
塩野義解析センター ○畠中 駿逸  
塩野義解析センター 山本 成志  
塩野義解析センター 後藤 昌司

セッション G ファジィ理論の基礎と応用

- |     |  |   |   |
|-----|--|---|---|
|     | 座長                                       | 光華女子短大<br>製品科学研究所                                 | 竹村 和久<br>小木 元                             |
| G-1 | ファジィ理論による糖尿病診断                           | 川崎医科大学<br>川崎医科大学<br>川崎医療福祉大学<br>川崎医科大学<br>九州大学医学部 | ○有田 清三郎<br>米田 正也<br>堀 義巳<br>亀井 健<br>中村 雄介 |
| G-2 | ファジィグラフを応用した教材分析(Ⅲ)                      | 国学院高校<br>目黒高校<br>早稲田大学<br>川村女子大学                  | ○津田 栄<br>勝又 保雄<br>山下 元<br>西村 和子           |
| G-3 | ファジィ理論を応用したソシオグラム解析(Ⅲ)                   | 中川小学校<br>目黒高校<br>早稲田大学<br>国学院高校                   | ○清水 誠一<br>勝又 保雄<br>山下 元<br>津田 栄           |
| G-4 | 不確実情報の統合パターンの分析<br>——ファジィ数によるデータ表現を用いて—— | 光華女子短大<br>筑波大学社会工学系                               | ○竹村 和久<br>松田 紀之                           |
| G-5 | あいまい評定に基づく言語カテゴリーのファジィ構造分析               | 製品科学研究所<br>製品科学研究所<br>製品科学研究所<br>製品科学研究所          | ○中村 和男<br>横井 孝志<br>小木 元<br>渥美 浩章          |
| G-6 | 生活行動分析のためのモデル化手法について(2)                  | 製品科学研究所<br>製品科学研究所                                | ○横山 一也<br>小木 元                            |
| G-7 | あいまいさの視点からみた情報量規準の修正                     | 製品科学研究所   | 小木 元                                      |

## 特別セッション 2

## 「画像認識の現段階」

ロールシャッハテストの画像をコンピュータは何と認識するだろうか。それは心理学的、神経科学的能力をどのようにコンピュータに備えさせるかによる。それはどこまで実現しているだろうか。

医者は、レントゲン写真やCT像から隠れた病像を読み取ろうとする。画像認識技術を医用面に利用すると、医者の認識の論理のどの部分がコンピュータによって、置き換えられるのだろうか。

コンピュータによる文書処理では、画面の中から文字部分を選び出すことが大きな仕事になる。ワークステーション程度の装置環境でそれを実現することは可能だろうか。

似顔絵は、写真以上に本人を印象づけ、個人特定の材料になる。それはどこをデフォルメすることで達成できるのだろうか。コンピュータがそれを行うにはどんな技術が使われるのだろうか。

このセッションでは、画像の計量化とそれを応用することの現状と可能性を議論する予定である。

座長 川崎医科大学 有田 清三郎

## T2-1 画像認識の現状と動向

名古屋大学工学部 鳥脇 純一郎

## T2-2 文書認識・文書処理

三重大学工学部 木村 文隆

## T2-3 似顔絵師システムPICASSOについて

——認知的ビジョンの試み——

中京大学情報学部 輿水 大和

中京大学情報学部 ○村上 和人

## T2-4 脳の画像認識アルゴリズム

名古屋大学工学部 杉江 昇

(企画者 吉村 功)

## 特別セッション 3

## 「魅力ある車造りへの多変量解析手法の活用」

このセッションでは、工業技術、特に、品質管理の分野への多変量解析の適用に関して、その基本的な考え方、具体的な事例、総合的な評価が論じられます。従来、本学会では、人文・社会科学、生物科学への多変量解析の適用例が数多く発表されてきました。それらは、各領域での応用可能性に対する示唆や、新たな手法開発へのモチベーションを与え続けてきたと思われます。今回、技術開発の分野での応用について知ることは、理論家にも、応用のエキスパートにも、新しい問題意識と視点とを与えてくれるものと期待されます。

座長 名古屋工業大学工学部

神尾 信

## T3-1 魅力ある車造りへの多変量解析手法の活用

トヨタ自動車株式会社

○天坂 格郎

トヨタ自動車株式会社

牧 喜代司

## T3-2 電装品における音の定量評価法の確立

日本電装株式会社

○荏隈 辰也

日本電装株式会社

小林 敏博

日本電装株式会社

安藤 恵司

## T3-3 樹脂部品の色合わせ評価法の検討

トヨタ車体株式会社

○阿部 良行

トヨタ車体株式会社

石川 直秀

## T3-4 トヨタにおける多変量解析手法の活用と効果

トヨタ自動車株式会社

○天坂 格郎

トヨタ自動車株式会社

小杉 敬彦

(企画者 神尾 信)

特別講演 2

「大規模記憶媒体を利用したパソコン用統計データベースシステム」

国立教育研究所

浅木森 利昭

討論者 一橋大学経済研究所

安田 聖

司会 大学入試センター研究開発部

水野 欽司

浅木森氏は、教育に関する信頼度の高い官庁統計である、教育基本調査のデータベースを完成された方です。汎用機を用いて作成されたデータベースは、現在、CD-ROMの形で市販されており、パソコンからのアクセスが可能になっています。この講演では、データベースの紹介とともに、そのアクセスの過程を実演して見せていただきます。それはまた、将来の汎用機とパソコン、ワークステーションとの、適切な共存関係を考えるよすがともなるものと思われま

## シンポジウム 2

## 「非対称関係データの多次元解析」

本シンポジウムでは、非対称関係データの多次元解析、とりわけ、非対称多次元尺度法の紹介、最近の展開、今後の課題等について、内外の4名の研究者の研究発表を叩き台にして、参加者の理解を深めていただく。

企画者	愛知学院大学文学部	千野 直仁
司会	千葉大学文学部	宮埜 寿夫

S2-1	Fundamental problems in asymmetric scaling.	
	愛知学院大学文学部	千野 直仁

S2-2	非対称関係のモデルと分析法	
	北海道大学文学部	齋藤 堯幸

S2-3	非対称計量関数に基づくMDS	
	北海道大学工学部	佐藤 義治

S2-4	Constrained DEDICOM.	
	McGill University	○高根 芳雄
	University of Groningen	Henk A. L. Kiers

第3日 午後

8月30日(金)  
701室 14:30-17:30

セッション H 調査

- |     |   |  |                                  |
|-----|---|--|----------------------------------|
|     | 座長  | 東洋英和女学院大学<br>国立国語研究所                     | 林 文<br>江川 清                      |
| H-1 | 1990年度 国民生活時間調査 結果の紹介                               | NHK放送文化研究所                               | 橋本 昌児                            |
| H-2 | パッケージデザインの基礎研究                                      | 花王株式会社                                   | 陸 正                              |
| H-3 | 郵送調査の返信率に及ぼす調査主体と押印の効果                              | 関西大学社会学部                                 | 林 英夫                             |
| H-4 | 意識の国際比較のための連鎖的調査分析法                                 | 統計数理研究所                                  | 林 知己夫                            |
| H-5 | 社会調査における属性の意味の国際比較                                  | 東洋英和女学院大学<br>統計数理研究所                     | ○林 文<br>鈴木 達三                    |
| H-6 | 北海道における言語生活調査(1)<br>——調査の目的と概要——                    | 国立国語研究所<br>国立国語研究所<br>国立国語研究所<br>国立国語研究所 | ○江川 清<br>米田 正人<br>杉戸 清樹<br>熊谷 康雄 |
| H-7 | 北海道における言語生活調査(2)<br>——買物場面での言語行動意識——                | 国立国語研究所<br>国立国語研究所<br>国立国語研究所<br>国立国語研究所 | ○杉戸 清樹<br>江川 清<br>熊谷 康雄<br>米田 正人 |
| H-8 | 北海道における言語生活調査(3)<br>——近所づきあい・あいさつ行動の男女差, 地域差, 年齢差—— | 国立国語研究所<br>国立国語研究所<br>国立国語研究所<br>国立国語研究所 | ○熊谷 康雄<br>江川 清<br>杉戸 清樹<br>米田 正人 |